

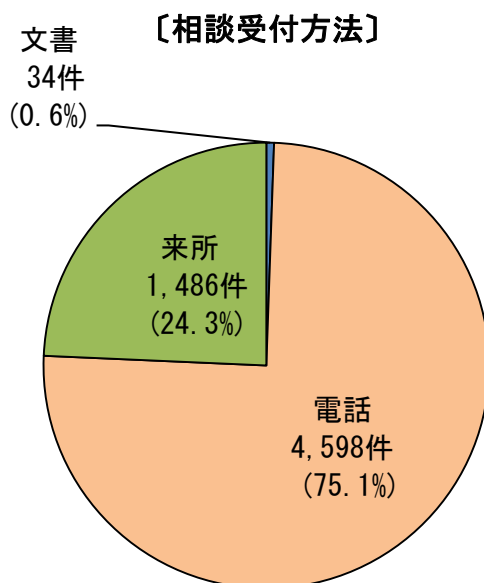
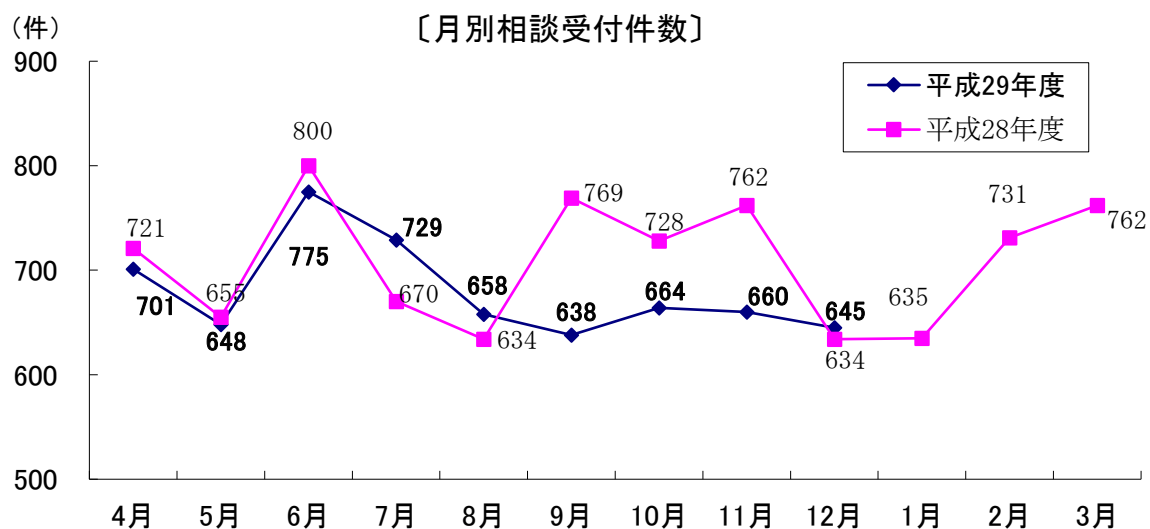
平成 29 年 4 - 12 月青森県内の消費生活相談状況

1 相談受付状況

(1) 概況

平成 29 年 4 - 12 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、6,118 件（苦情 5,111 件、問合せ 1,007 件）であり、前年同期と比較して、255 件（▲4.0%）減少しています。（単位：件）

項目	年度	平成 29 年度 4 - 12 月	平成 28 年度 4 - 12 月	増 減
苦 情		5,111	5,197	▲86 (▲ 1.7%)
問 合 せ		1,007	1,176	▲169 (▲14.4%)
計		6,118	6,373	▲255 (▲ 4.0%)

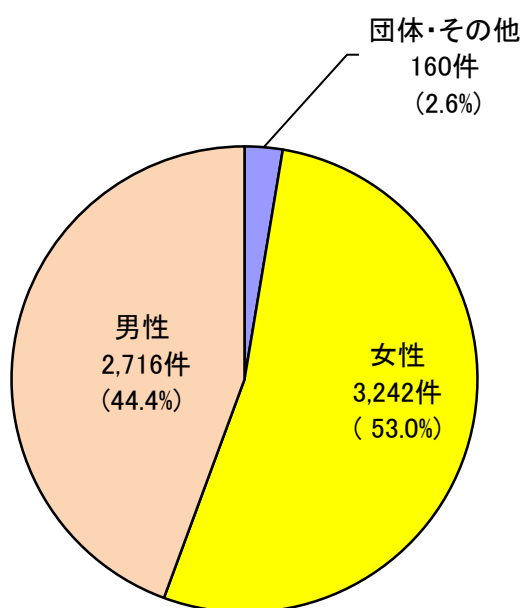


(2) 契約当事者の状況

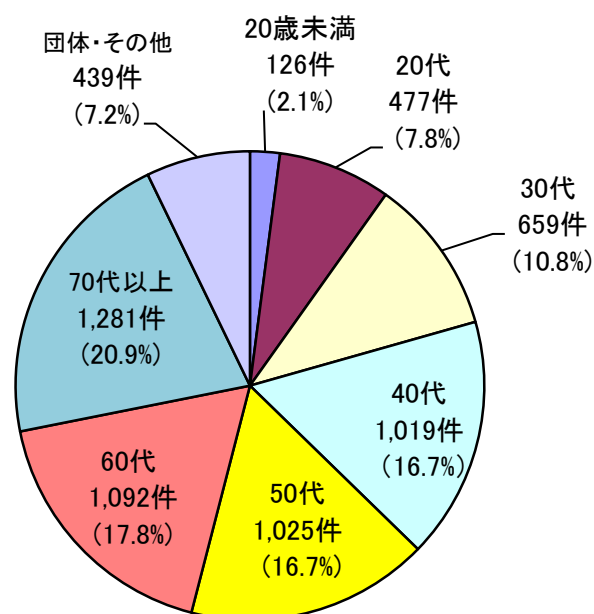
契約当事者を性別で見ると、女性が3,242件で、全体の53.0%を占めています。年代別では、70代以上が1,281件(20.9%)と最も多く、次いで60代が1,092件(17.8%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が2,417件(39.5%)と最も多く、次いで無職が1,920件(31.4%)となっています。

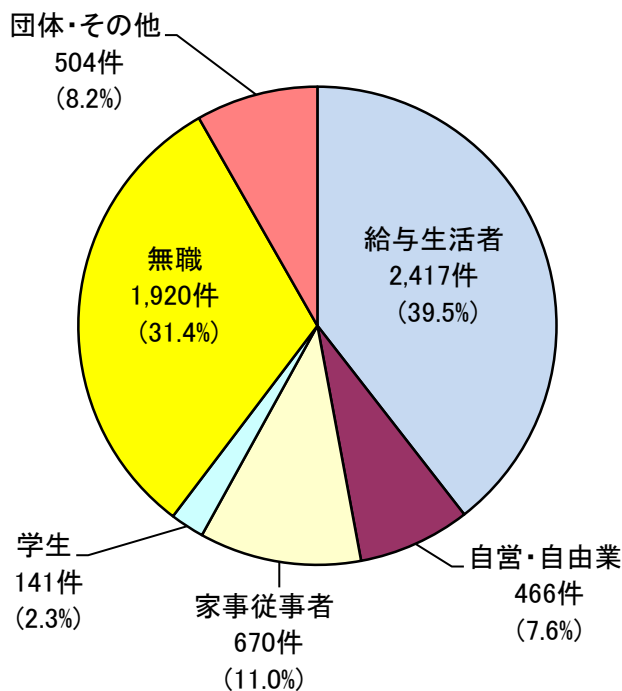
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



(3) 主な商品・役務別の相談受付状況

(単位：件)

	商品・役務名	平成 29 年度 4－12 月	平成 28 年度 4－12 月	増 減
1	運輸・通信サービス	1,860	1,895	▲35 (▲1.8%)
2	金融・保険サービス	628	676	▲48 (▲7.1%)
3	商品一般	571	318	253 (79.6%)
4	食料品	396	448	▲52 (▲11.6%)
5	教養娯楽品	291	290	1 (0.3%)
	その他	2,372	2,746	▲374 (▲13.6%)
	計	6,118	6,373	▲255 (▲4.0%)

1 「運輸・通信サービス」

平成 29 年 4－12 月の相談件数は 1,860 件で、前年同期より 35 件減少しています。相談別にみると、アダルト情報サイト、出会い系サイトなどの放送・コンテンツに関連する相談の 1,255 件（全相談件数の 20.5%）が最も多く、次いで光ファイバー、インターネット接続回線などのインターネット通信サービスに関連する相談 351 件（同 5.7%）となっています。

2 「金融・保険サービス」

平成 29 年 4－12 月の相談件数は 628 件で、前年同期より 48 件減少しています。相談別にみると、融資サービスに関連する相談の 416 件（全相談件数の 6.8%）が最も多く、次いでクレジットカードの入退会に関する相談を含む他の金融関連サービスに関連する相談が 42 件（同 0.7%）となっています。

3 「商品一般」

平成 29 年 4－12 月の相談件数は 571 件（全相談件数の 9.3%）で、前年同期より 253 件増加しています。特に、架空請求に関する相談が 295 件（全相談件数の 4.8%）で、前年同期より 272 件増加したことが増加の大きな要因となっています。なお、商品一般には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されます。

4 「食料品」

平成 29 年 4－12 月の相談件数は 396 件で、前年同期より 52 件減少しています。相談別にみると、健康食品に関連する相談の 214 件（全相談件数の 3.5%）が最も多く、次いで飲料に関連する相談の 62 件（同 1.0%）となっています。

5 「教養娯楽品」

平成 29 年 4－12 月の相談件数は 291 件で、前年同期より 1 件増加しています。相談別にみると、新聞、雑誌などの相談を含む、書籍・印刷物に関連する相談の 90 件（全相談件数の 1.5%）が最も多く、次いでペットの犬などを含む他の教養娯楽品に関連する相談が 51 件（同 0.8%）となっています。



青森県消費生活センター
マスコットキャラクター
テルミちゃん
☎(Tel. Me)

2 特殊詐欺の状況

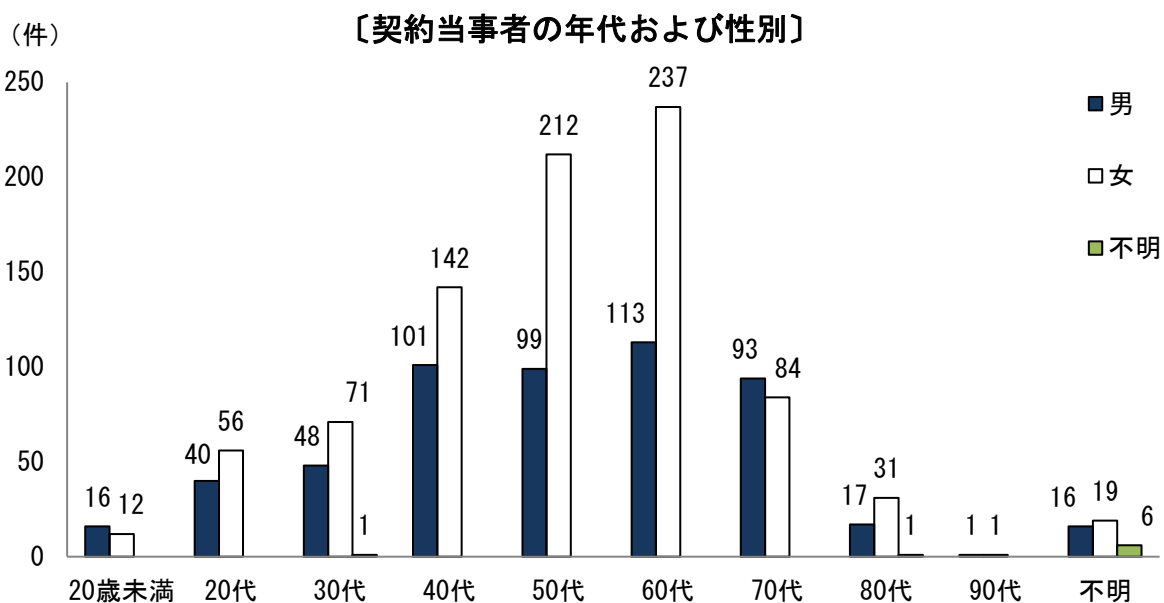
(1) 概況

平成29年4-12月の相談件数は1,417件で、前年同期と比べると108件(8.3%)増加しました。類型別にみると、振り込め詐欺の1,163件(相談件数の82.1%)が最も多く、次いでワンクリック詐欺の165件(同11.6%)となっています。(単位:件)

類 型	年 度	平成29年度 4-12月	平成28年度 4-12月	増 減
振り込め詐欺		1,163	772	391 (50.6%)
架空請求詐欺		1,052	505	547 (108.3%)
還付金詐欺		101	261	▲160 (▲61.3%)
融資保証金詐欺		7	6	1 (16.7%)
オレオレ詐欺		3	0	3 (皆 増)
ワンクリック詐欺		165	410	▲245 (▲59.8%)
金融商品取引名目詐欺		43	62	▲19 (▲30.6%)
異性との交際あっせん名目詐欺		30	54	▲24 (▲44.4%)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺		9	4	5 (125.0%)
その他の名目詐欺(宝くじ)		7	7	—
計		1,417	1,309	108 (8.3%)

(2) 特殊詐欺に係る当事者の状況

契約当事者を年代・性別でみると、60代女性の237件が最も多く、次いで50代女性が212件となっています。性別のみでみると、男性が544件(相談件数の38.4%)、女性が865件(同61.0%)と女性の割合が高くなっています。



(3) 特殊詐欺に係る既払金額

平成29年4-12月における特殊詐欺の既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数は減少していますが、既払金額の合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額とも前年同期より増加しています。

(単位：千円)

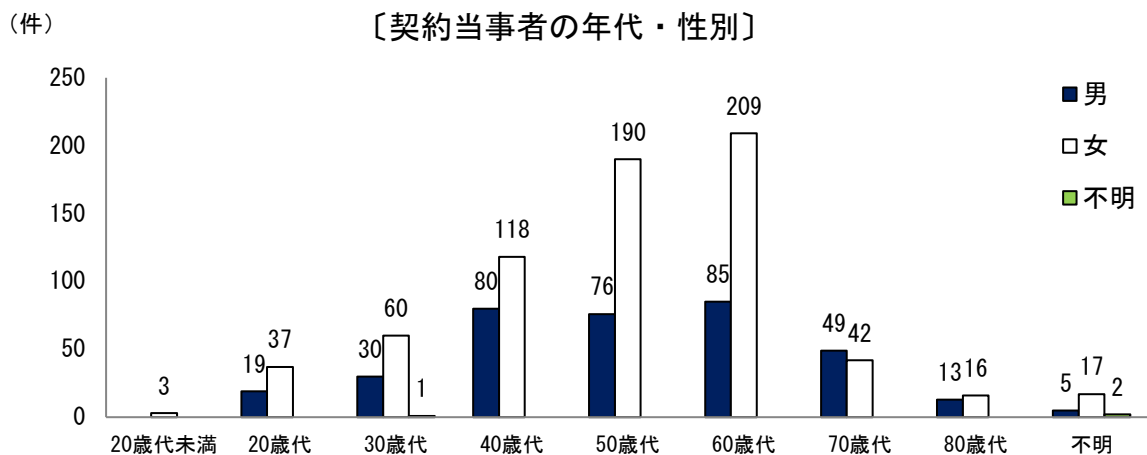
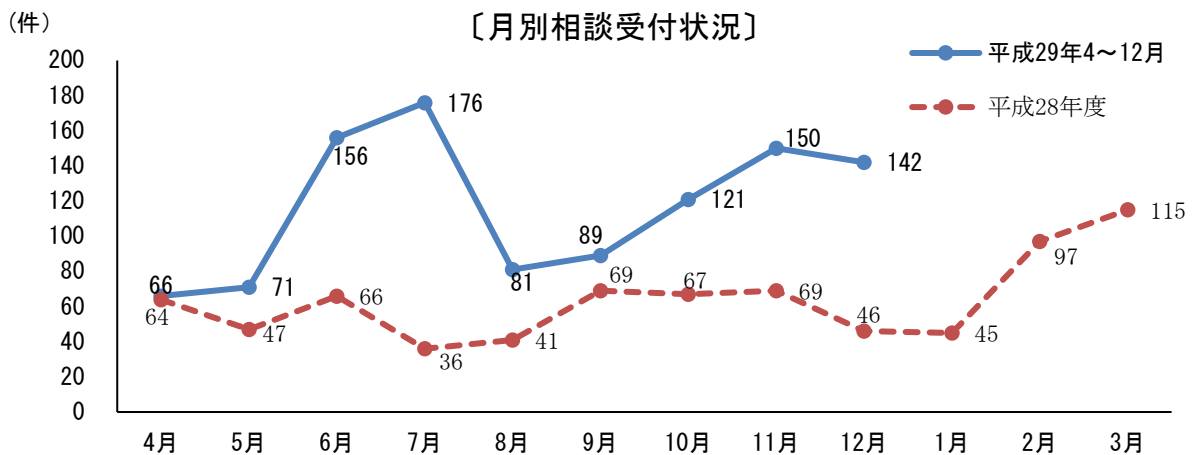
	平成29年度 4-12月	平成28年度 4-12月	増減
お金を支払った人の数	77人	82人	▲5 (▲6.1%)
既払金額合計	111,644	82,265	29,379 (35.7%)
平均既払金額 (一人当たり)	1,450	1,003	447 (44.6%)
最大既払額	20,000	11,800	8,200 (69.5%)

3 相談における特徴

○ 架空請求に関する相談が増加

架空請求に関する相談が増加しています。月別の相談受付状況を見ると、7月にかけて大きく増加した後急激に減少し、再び緩やかに増加しています。平成28年度の変動の少ないグラフと比較すると相談件数の特徴的な動きがわかります。

架空請求の手口で見ると、SMSやメールなどによるものが811件(架空請求相談の77.1%)、ハガキによるものが241件(同22.9%)となっています。



4 65歳以上の高齢者の状況

(1) 全般

ア 概況

高齢者の相談は1,876件で、前年同期と比較して155件(▲7.6%)減少していますが、全相談件数に占める割合は30.7%と3割を超えています。

(単位：件)

項目	年度	平成29年度 4-12月	平成28年度 4-12月	増減
苦情		1,479	1,575	▲96(▲6.1%)
問合せ		397	456	▲59(▲12.9%)
計		1,876	2,031	▲155(▲7.6%)

イ 高齢者の主な商品・役務別の相談受付状況

高齢者の相談では、運輸・通信サービスに関する相談が404件(相談件数の21.5%)と最も多く、前年同期より19件増加しています。また、運輸・通信サービスの中では、架空請求、ワンクリック詐欺を含む放送・コンテンツ等の相談が235件(同12.5%)と最も多くなっています。

(単位：件)

	商品・役務名	平成29年度 4-12月	平成28年度 4-12月	増減
1	運輸・通信サービス	404	385	19(4.9%)
2	商品一般	225	124	101(81.5%)
3	食料品	198	212	▲14(▲6.6%)
4	金融・保険サービス	182	208	▲26(▲12.5%)
5	保健・福祉サービス	151	239	▲88(▲36.8%)
	その他	716	863	▲147(▲17.0%)
	計	1,876	2,031	▲155(▲7.6%)

ウ 高齢者からの相談に係る契約等の既払金額

高齢者の相談に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数は13人減少していますが、既払金額の合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額ともすべて大幅に増加しており、深刻な被害が発生していることがわかります。

(単位：千円)

	平成29年度 4-12月	平成28年度 4-12月	増減
お金を支払った人の数	279人	292人	▲13(▲4.5%)
既払金額合計	642,005	237,236	404,769(170.6%)
平均既払金額(一人当たり)	2,301	812	1,489(183.4%)
最大既払額	75,000	23,000	52,000(226.1%)

(2) 高齢者の特殊詐欺の状況

ア 概況

高齢者の特殊詐欺に関する相談件数は410件で、前年同期と比べると4件(1.0%)増加しました。類型別にみると、振り込め詐欺が360件(相談件数の87.8%)と最も多く、次いで金融商品取引名目詐欺が26件(同6.3%)となっています。

(単位：件)

類 型	年 度	平成 29 年度 4－12 月	平成 28 年度 4－12 月	増 減
振り込め詐欺		360	326	34 (10.4%)
架空請求詐欺		263	112	151 (134.8%)
還付金詐欺		94	213	▲119 (▲55.9%)
オレオレ詐欺		3	0	3 (皆 増)
融資保証金詐欺		0	1	▲1 (皆 減)
金融商品取引名目詐欺		26	38	▲12 (▲31.6%)
ワンクリック詐欺		20	36	▲16 (▲44.4%)
その他の名目詐欺(宝くじ)		4	2	2 (100.0%)
異性との交際あっせん名目詐欺		0	3	▲3 (皆 減)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺		0	1	▲1 (皆 減)
計		410	406	4 (1.0%)

イ 高齢者の特殊詐欺に係る既払金額

高齢者の特殊詐欺に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数は前年同期と比較すると1人(▲9.1%)減っていますが、既払金額の合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額とも増加しています。

(単位：千円)

	平成 29 年度 4－12 月	平成 28 年度 4－12 月	増 減
お金を支払った人の数	10 人	11 人	▲1 (▲ 9.1%)
既払金額合計	60,912	20,775	40,137 (193.2%)
平均既払金額(一人当たり)	6,091	1,889	4,202 (222.4%)
最大既払額	20,000	11,800	8,200 (69.5%)

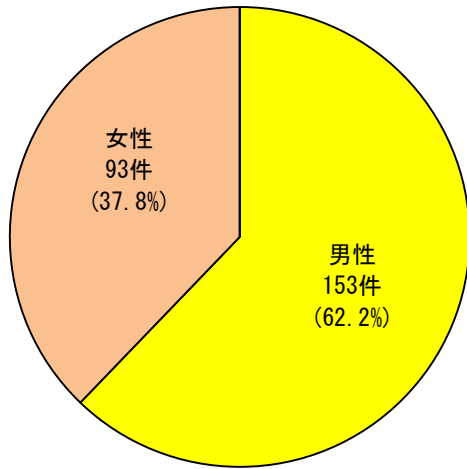
5 多重債務に関する相談の受付状況

平成29年4-12月における多重債務に関する相談件数は246件で、前年同期より6件(2.5%)増加しています。

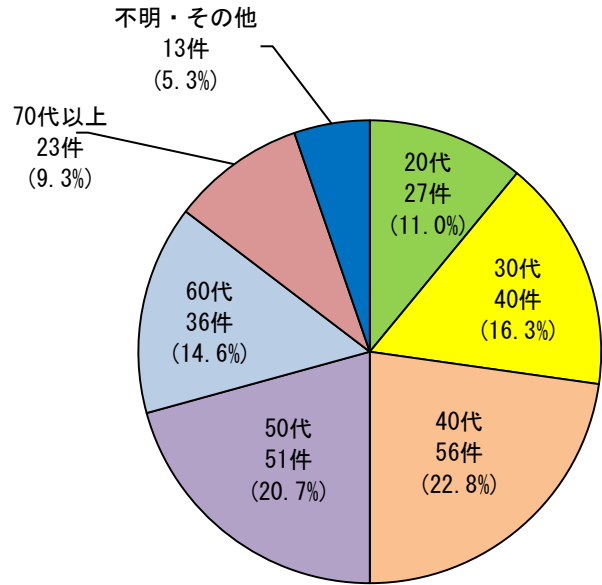
(単位：件)

	平成 29 年 4－12 月	平成 28 年 4－12 月	増 減
相談受付件数	246	240	6 (2.5%)

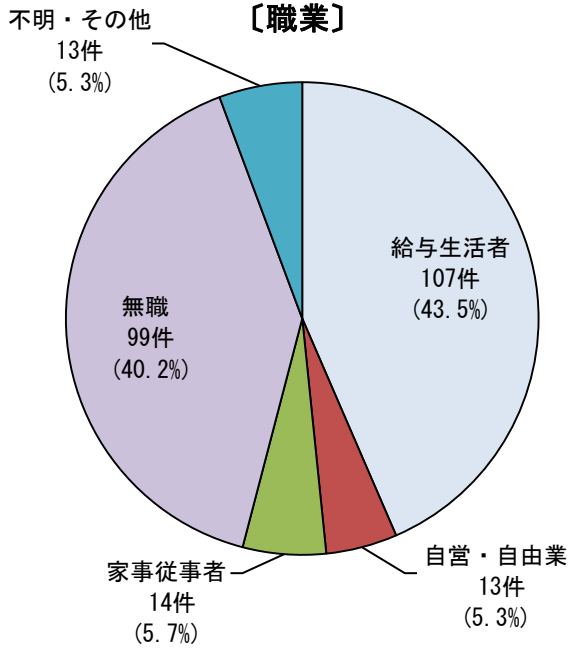
〔性別〕



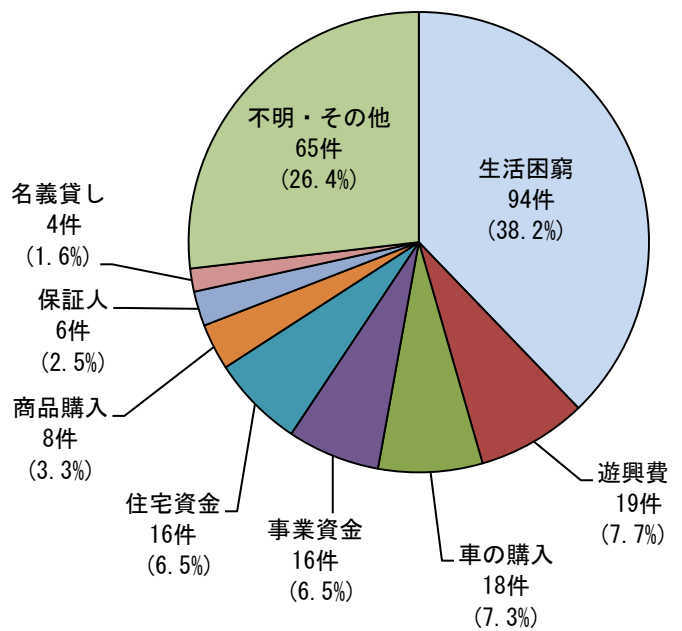
〔年代〕



〔職業〕



〔借金のきっかけ〕



6 ヤミ金などの相談状況

平成29年4-12月におけるヤミ金などに関する相談件数は33件で、前年同期48件より15件(▲31.3%)減少しています。(単位:件)

	平成29年 4-12月	平成28年 4-12月	増減
ヤミ金	25	40	▲15 (▲37.5%)
融資保証金詐欺	7	6	1 (16.7%)
借金整理屋	1	2	▲1 (▲50.0%)
ショッピング枠現金化	0	0	0 (—)
計	33	48	▲15 (▲31.3%)